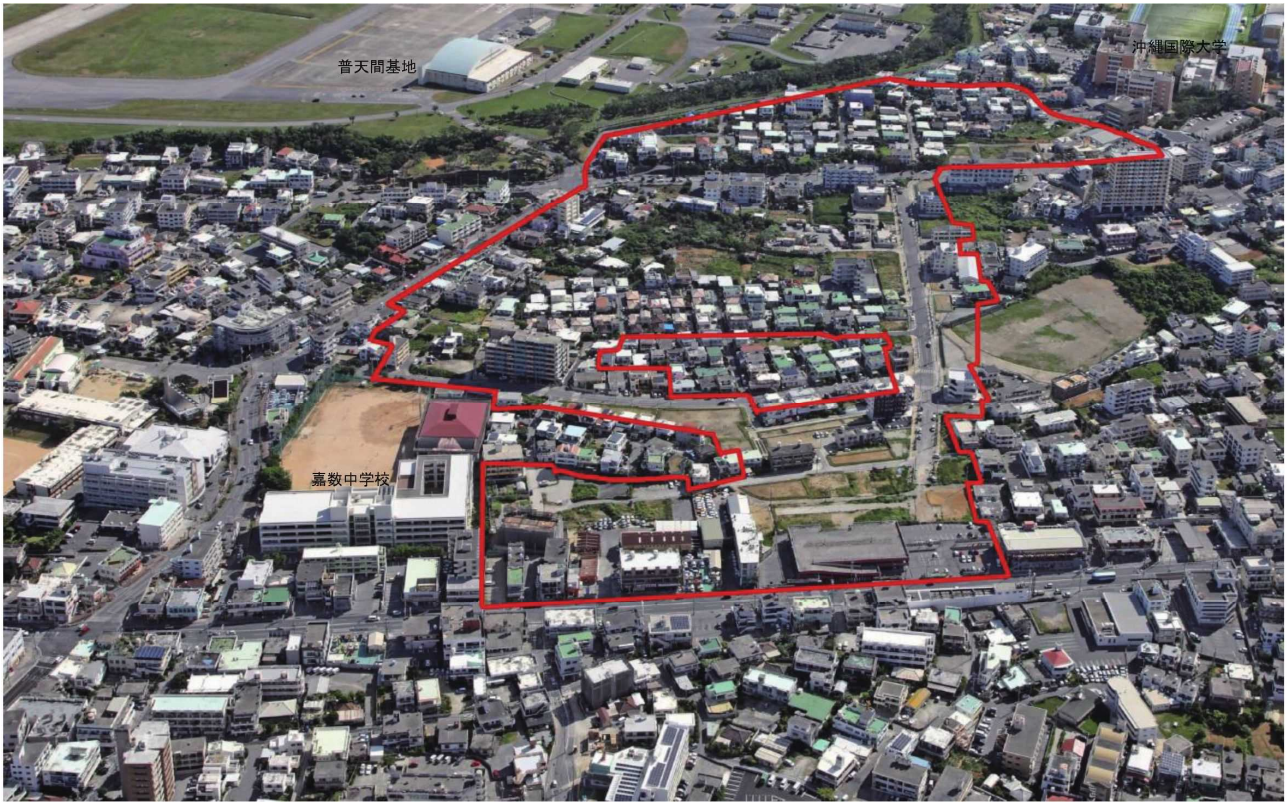




佐真下第二地区

宜野湾市 公共団体施行



平成 25 年 7 月撮影

施行者	宜野湾市
施行面積	16.8ha
都市計画決定	平成 12 年 4 月 21 日
事業計画	平成 13 年 3 月 9 日
施行期間	平成 12 年度～令和 10 年度
補助期間	平成 7 年度～令和 8 年度
総事業費	7,361,000 千円
沖縄振興公共投資交付金	2,336,400 千円
計画人口	1,500 人
減歩率	合算 21.02%
公共用地率	従後 25.06%
建物移転数	121 戸予定

〈公共施設の整備〉

都市計画道路	3 路線
	幅員 12.0 m～18.0 m
	延長 709 m
区画道路	幅員 4.0 m～6.0 m
	延長 3,760 m
特殊道路	幅員 4 m～6 m
	延長 226 m
公園	3 箇所 5,027 m ²

〈他関連事業〉

都市公園整備事業、公共下水道整備事業
 ※事業計画（第 8 回変更） 令和 4 年 2 月変更
 ※交付金は、国費額

本地区は、宜野湾市の南側の商業地域に位置し、国道 330 号と県道 34 号線が交差する位置付近にある面積 16.8ha の地区です。

地区周辺部には、真栄原商店街や市立嘉数中学校、私立カトリック沖縄学園、私立沖縄国際大学があることから、市内でも早くから市街化の進んだ地域です。

当該地区は、このように地理的条件に恵まれているにもかかわらず、都市基盤整備の立ち遅れから、無秩序に建てられた住宅地域に農地や原野等が点在するなど、有効な土地利用が図れないままスプロール化した状況でした。

このため、平成 8 年度に土地区画整理事業として公共施設の整備改善と良好な宅地の造成を一体的に行い、健全な市街地の形成を図る街づくりを手がけたところでした。



宜野湾 5 号線



区 6-14 号線



真栄原 69 号線



真栄原 44 号線

土地区画整理事業設計図及び区内現況写真



西普天間住宅地区

宜野湾市 公共団体施行



令和元年撮影

施行者 宜野湾市
施行面積 50.7ha
都市計画決定 平成31年1月4日
事業計画 平成31年3月8日
施行期間 平成30年度～令和9年度
補助期間 平成31年度～令和8年度
総事業費 14,390,000千円
社会資本整備総合交付金 6,520,500千円
計画人口 1,124人
減歩率 合算38.00%
公共用地率 従後39.7%
建物移転数 0戸

〈公共施設の整備〉

都市計画道路 2路線	幅員 16.0 m～20.0 m
		延長 2,236 m
区画道路	幅員 6.0 m～10.0 m
		延長 4,949 m
特殊道路	幅員 6 m
		延長 791 m
通路	幅員 1.2 m
		延長 67 m
公園 6箇所	82,898㎡
緑地 2箇所	35,922㎡

〈他関連事業〉

公共下水道整備事業、水道事業、雨水排水整備事業
 公園整備事業、無電柱化推進事業
 ※事業計画書（第3回変更） 令和5年3月決定予定による
 ※交付金は、国費額

本地区は、戦前まで農村集落でしたが、第二次世界大戦後全域において70年間に渡り米軍に接収され住宅地として利用されてきました。その後平成27年3月に西普天間住宅地区が返還され、現在は傾斜を有した原野となっています。

本地区は、返還跡地として良好な住環境の形成及び跡地利用を先導する沖縄健康医療拠点等の形成に加えて、基幹道路の適切な配置を推進する地区として位置付けられています。

そのため、土地区画整理事業の実施により返還跡地の有効活用を図るとともに、地区の持つポテンシャルを上げ沖縄健康拠点等を中心とした魅力あふれるまちの形成を目指しています。



那覇広域都市計画事業 西普天間住宅地区土地区画整理事業 設計図



土地区画整理事業設計図及び区内現況写真